

しもの診療所だより 4月号

今月の診療所だよりは腹部エコーについてです。腹部エコーでは主に、肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓、脾臓を検査します。なかでも胆石、早期肝臓がんの発見に有用で、胆石は症状を認めずに、検診で初めて指摘される場合も多く、保有者の約10%は生涯、無症状で経過するといわれています。エコー検査は空気に弱く、食事の後では胃や腸に空気が発生しやすく、胆嚢も収縮してしまうため、絶食の状態で行ないます。また、膀胱を検査する場合は尿がたまっているほうが詳しく観察できるので、検査前の排尿は我慢するようにしてください。健診で肝機能異常を指摘された方はもちろんですがお酒が好きで今の肝臓の状態が気になる方や脂肪肝の程度を知りたい方にも検査できます。また、油っこいものを食べたあとに右脇腹が痛くなる方は胆石発作の可能性がありますので、腹部エコーを受けたほうが良いでしょう。しもの診療所でも腹部エコー検査していますのでお気軽にご相談ください。

しもの診療所 院長 川井 祐輔